

「天使知音サロン」慈善公益サービスプロジェクト概要

このプロジェクトは、自閉症児の保護者が出会い交流する機会を与え、音楽を通じて自閉症児の耳を、そして自己閉鎖的な世界を開き、日常世界を肌で感じてもらうために、上海曹鵬音楽センターと上海市慈善基金会在協同で2008年に慈善サービスプロジェクトとして「天使知音サロン」を開始しました。プロジェクトの実施を通じて、社会全体に自閉症児を少しでも理解し、包容し、関心を持ってもらい、彼らに自分の居場所となる学校を与え、この「星の子」たちが健康に成長できるように呼びかけています。

毎週末、上海音楽センター傘下の上海城市交響楽団のメンバーは自閉症の保護者のために無料で音楽サロンを開催していました。音楽を通じて保護者の心の痛みを和らげ、親同士のコミュニケーションの場を作ることを目指していました。その後自閉症の子供たちも静かに音楽を聴くことができる、ということがわかりました。曹鵬先生は、「音楽で子供たちの耳と心を開いてあげよう」と提唱しました。ボランティアたちが自閉症の子供たちに直接歌やダンス、楽器演奏を教え、木琴組、銅管組、サクソ重奏組を設立し、音楽の世界に導いていきます。彼らは上海城市交響楽団の百回以上にも及ぶ公演に参加し、また何度も一緒に老人ホームにて慰問公演を行い、家庭から社会に一步踏み出しました。彼らは社会に触れ、特技を発揮し、自らも地下鉄駅でボランティア活動をします。彼らに対する社会の愛情に彼らは音楽で報いようとしています。それは自分が愛されることから他人を愛することに変化していくのです。毎年「愛は都市にある」特別コンサートや路上イベントは、斬新な行動的芸術でありまた公益慈善に参加することで、社会的責任感を高めています。

曹鵬先生は99歳という高齢になっても自ら指揮を執り、この公益に力を尽くして参加し、感動と敬服を呼んでいます。子供たちは曹鵬先生の案内のもと何度も上海を出て、有名なイギリスのエディンバラ音楽祭、アバディーン国際青少年音楽祭、フィレンツェ「スターコンサート」、日本第17回全国障害者芸術祭、奈良文化祭、マカオ青少年音楽祭に二度招待されました。各国の国際メディアに報道され、国際的賞賛を得ています。

2017年、中国児童青少年基金の援助により「愛の授業」プロジェクトを開設し、的確な授業を設計し、子供たちは文化を持ち、これまでの状態を変え、急速に進歩しました。そして天使管弦楽団を結成しました。

2018年、「愛のカフェ」社会实践ステーションを創設しました。子供たちが社会のさまざまな人に適応し、よりよく社会に溶け込むことができるように。

2019年、愛焙煎実践ステーションを設立し、すでに五人の生徒が国際認定バリスタジュニアとインターミディエイトの資格を取得しました。これは自閉症の子供たちが将来就職の道を歩むためにより多くの機会を広げました。

2020年には上海健康医学院と共同で、将来両親が暮らす老人ホームで働けるよう看護の授業を受けています

2021年12月、上海市曹鵬公益基金会在が設立されました。基金の設立は、自閉症を愛する社会宣伝、支援救助、イベント企画、ボランティア訓練など多角的な資金支援を行っています。

私たちはこの活動を堅持してこそ希望があると信じています。

2024年 上海曹鵬音楽センター

